



2017年5月12日

各位

会社名 大日本塗料株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩浅 寿二郎
(コード：4611、東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 瀬古 宜範
(TEL 06-6466-6661)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2017年度から2019年度までの3カ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社を取り巻く環境といたしましては、国内経済は緩やかな回復基調が継続するものの、中国及び新興国の景気減速や米国新政権の政策、英国のEU離脱問題など海外経済における不確実性が高まっており、今後も先行きは不透明な状況にあります。また、当社の主要市場である国内塗料市場は趨勢的に縮小傾向にあり、今後も販売競争は激化していくものと予想されます。

当社は、2014年度から2016年度までの前中期経営計画期間において、国内塗料事業の高付加価値化、海外塗料事業の積極拡大、新収益源となる事業の育成・強化を三本柱とする経営方針のもと、更なる収益力とグローバル展開力を持つ企業へのステップアップを目指し、コスト競争力の強化や新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。これら取り組みを継続発展させ、上記の経営環境に対応すべく、このたび新たな中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

(1) 中期経営計画のテーマ

今回策定いたしました中期経営計画では、「持続的成長に向けて、新たな高付加価値化へ挑む」ことをテーマに、中期経営計画最終年度に当たる2019年度の数値目標を売上高800億円、営業利益80億円、営業利益率10%といたします。

(2) 中期経営計画の重点施策

- ① 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う国内インフラ市場における新設、メンテナンス需要の確実な取り込み

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う首都圏再開発需要に対して競争力のある高付加価値品の拡販を強化するとともに、当社が強みを持つ重防食技術をインフラ管理に活用し、オリンピック以後を見据えた事業モデルを確立する。

② 当社の強みを生かした新規市場開拓の推進

重防食技術やインクジェット技術等の当社が強みをもつ分野において、お客様が抱える課題に対し当社独自の解決提案を行うことで、新規顧客の開拓や新規需要の創出に注力する。

③ 国内塗料事業の更なる強化

前中期経営計画期間で推進した高付加価値品の販売拡大に加え、製品別に販売戦略の見直しを行う。また、引き続き生産体制の適正化を進めることで、国内塗料事業の収益性改善を図る。

④ 海外塗料事業の継続的・積極的拡大

成長市場である海外市場においては、強みをもつ分野や地域に集中・特化し、シェアアップや新規顧客の獲得に努めていく。また重防食塗料の海外展開についても継続的に実行し、海外においても「重防食のDNT」ブランドの定着を図る。

(3) 中期経営計画の連結業績目標

(百万円)

	2017年3月期 (実績)	2020年3月期 (目標)	増減
売上高	72,789	80,000	7,211
営業利益	6,533	8,000	1,467
営業利益率	9.0%	10.0%	1.0%

以上